

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	しおじりの地域資源発掘! 「ならい塾」 事業
事業主体 (連絡先)	塩尻市観光協会 塩尻市大門一番町12番2号
事業区分	⑥ア 特色ある観光地づくり ⑤ 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,300,076 円 (うち支援金: 902,000 円)

事業内容

1 セミナーワークショップ

・奈良井宿の課題である観光客の滞留時間や滞在型のお客様を増やすために、地域資源を有効に活用しながら多様な分野の第一線で活躍する方々を講師に招き、新たなニーズでの奈良井宿の活かし方を模索していくためのセミナーを行った。



奈良井宿セミナー (全9回)

- ① 日時:平成27年9月7日(月)
会場:檜川公民館奈良井分館 広間
講師:伏木暢顕さん
内容:『発酵物のスムーズな活用法』
参加数:19人
- ② 日時:平成27年10月5日(月)
会場:檜川公民館奈良井分館 広間・厨房
講師:伏木暢顕さん
内容:『野菜のお料理木曾ならではの料理演出』
参加数:14人
- ③ 日時:平成27年10月19日(月)
会場:檜川公民館奈良井分館
広間・奈良井宿屋外
講師:伏木暢顕さん、真鍋未央さん
内容:
『RUN 女子が求めるサービスや食事について』
参加数:15人
- ④ 日時:平成27年10月26日(月)
会場:檜川公民館奈良井分館 広間
講師:伏木暢顕さん、サントーシマ香さん
内容:
『ヨガ、ヨガスポットの案内サービスや食事』
参加数:8人



【調理実習の様子】



【RUNの様子】



【ヨガの様子】

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- ⑤ 日 時：平成27年11月 9日 (月)
会 場：檜川公民館奈良井分館 広間
講 師：伏木暢頭さん、島田淑子さん
内 容：
『かつさマッサージ東洋医学的な代謝について』
参加数：14人



【かつさマッサージの様子】

- ⑥ 日 時：平成27年11月 30日 (月)
会 場：檜川公民館奈良井分館 広間
講 師：伏木暢頭さん、渡邊美穂さん
内 容：
『ジャイロキネシス 呼吸と入浴について』
参加数：15人



【ジャイロキネシスの様子】

- ⑦ 日 時：平成28年2月 8日 (月)
会 場：檜川公民館奈良井分館 広間・厨房
講 師：伏木暢頭さん
内 容：『調理実習仕込みの手順』
参加数：16人

- ⑧ 日 時：平成28年2月22日 (月)
会 場：檜川公民館奈良井分館 広間・厨房
講 師：伏木暢頭さん・室谷真由美さん
内 容：
『ベジ料理ヴィーガン対策のための心がけ』
参加数：12人



【調理実習の様子 (ベジ料理)】

- ⑨ 日 時：平成28年3月 7日 (月)
会 場：檜川公民館奈良井分館 広間・厨房
講 師：伏木暢頭さん
内 容：『調理実習まとめ、方向性』
参加数： 8人



【調理実習の様子】

2 ウォーキングコースの整備 (美化活動) 事業
・「健康」をキーワードに奈良井宿から藪原へ向かう
中山道、鳥居峠の遊歩道をパッケージツアーのウォー
キングコースに組み込むため、地域をあげてコース整
備 (美化活動)、サイン等の整備の検討を行った。

- ① 日 時：平成27年4月16日 (木)
会 場：鳥居峠・奈良井ダム側道
参加数：35人

- ② 日 時：平成27年10月7日 (水)
会 場：鳥居峠・奈良井ダム側道
参加数：37人



【整備事業の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1

(1) 講師を招き、自分たちが住む町のことを真剣に考える機会をつくったことで、奈良井宿の新たな魅力や活かし方を考えることができた。その中で、奈良井宿の魅力を発信していくキーワードとして「健康」、「山菜・野草」が挙げられた。これらは地域住民にとってはありきたりであり、身近過ぎて価値を見出せないものではあるが、主な講師である伏木暢顕さんの発酵を加えることで、付加価値を付け展開していく可能性を見出すことができた。

*木曽地方の発酵と言えば「すんき」が挙げられるが、時期が限られていることと扱いが難しいという難点があるが、伏木暢顕さんの「ひしお」は時期を限ることなく、扱いがしやすい発酵食品となる。

伏木暢顕さんの講座を受講することで、実際にひしおで漬けた料理を提供する店舗が出てきており、徐々に活用し、定着していく動きがみられる。

(2) 都心部でニーズとされている「ヨガ」、「かっさ」、「RUN」、「ジャイロキネシス」、「マクロビオテック」といった健康志向・自然派志向の講師を招き実際に体験しながら、講師から奈良井宿の魅力や活かし方を提案された中で、都心部からのアクセスも良好であり、自然豊かな奈良井宿は健康志向・自然志向の都心部の主に女性客を呼び込むのに適した場所であり、今後着地型観光商品の造成をしていく可能性が大いにあることが分かった。また、地元住民が集まることで、情報交換や交流の場となり、奈良井宿の課題について話し合う場となった。奈良井宿をより着地型の観光地として発展させていくためには健康志向の食事の定着や入浴施設の設置などの必要性が挙げられ、その実現に向けまずは健康食の活用という取組みが始められている。

2、街道ブームにより年々歩く人が増加している鳥居峠。最近では歴史街道好きな外国人旅行客も増え、インバウンド対策の必要性も出ている。地域住民がコース整備（美化活動）を行うことで、地域資源の見直しを行い、地域資源の魅力について話し合いを行うことで、愛着を造成することができた。また、サインの整備の検討を行うことで、どこにどのサインを置くべきか客観視できると共にサインが無くても補える方法（道で観光客に案内をする等）を住民が考える場となった。

【目標・ねらい】

- ① 地域資源の発掘、磨き上げ
- ② 住民同士の交流と意識改革
- ③ 住民の愛着や誇りの造成
- ④ レシピの開発

※自己評価【B】

【理由】

- ・毎回固定で参加してくれる前向きな情熱を持った参加者がいた。
- ・地域の情報交換の場となり、これからの奈良井宿を盛り上げていく一導となった。
- ・回を重ねるごとに参加者が固定し、セミナーが営業時間と重なる等の理由から新規の参加者が増えなかった点が残念であった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・奈良井宿で活動する奈良井宿観光協会の組織的な行事や会議の場は男性が主体であり、男性が主に活躍しているが、ならい塾を開催することにより、普段表に出にくい女性が集まり奈良井宿の今後について意見交換し、検討する場が持てたことは、奈良井宿にとって重要なことであり、今後も女性メインで今までの男性切り口の目線とは異なる奈良井宿の活かし方、課題等を検討し、発展させていきたい。

・次年度も引き続き講師を招き、四季折々の食材を用い、食材の旬の時期ごとに調理実習行い、地元住民と共に料理を考案し、塩尻懐石・レシピを作り上げていく。作り上げたレシピを元に個々が研究し定番化、商品化を目指す。数年後には四季折々の食材を使った料理を提供することが定着し、どのお店を利用しても提供される郷土料理化していくことを目指し、「健康」をテーマに奈良井宿を訪れる滞在型の旅行者を誘致できる体制を整えたい。

・食事会（お披露目会）の実施

開発した料理を提供する食事会(お披露目会)を講師の指導をもとに地域住民主体で開催し、外部の方々からの意見や感想を元に改良を重ねていく。また、プロの料理人の手順やホスピタリティを学ぶことで、各店の今後のおもてなしやサービスの向上を図る。

開催日：

案)「秋の木曾漆器祭」とコラボすることで地元の工芸品で料理を提供し相乗効果を狙う。

案)「信州そば切り物語り」そばやワインを目的に訪れる観光客に新たな魅力を発信し、定着を図る。

・住民が地域資源を見直し、愛着を造成しながら、通過型の観光地になっている奈良井宿を着地型の観光地へと魅力をアップさせていくことはもちろん、近い将来現実問題として押し掛かる空き家の問題等へも取り組んでいきたい。

奈良井宿→入浴施設等の不足→空き家の活用→雇用の創出
長い目で広い視野で今後も取り組んでいく必要がある。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある